



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.1.1 No. 3716

歴史の歯車が恐るべき方向に回りはじめた

九二年は戦後史の転機となった。歴史の歯車が恐るべき方向に回りはじめている。「大東亜の協栄」を掲げて、絶望的な侵略戦争につき進んだ半世紀前の亡霊が俄に復活しつつある看がある。わずかの数カ月の間に、戦後「タブー」とされてきた事が、次々ととも簡単に破られている。「国際貢献」などという道徳的衣装をまといながら、武装した自衛隊が続々とカンボジアに出兵し、核武装化を企図して大量のプルトニウムが運びこまれようとしている。また、新たな「王道楽土」の野望を抱いて天皇が中国に足を踏み入れた。「平成維新」が叫ばれ、語られる言葉までがかつてと極似してきている。「派兵」という問題、そして世界を覆う危機が、すべての政治勢力・あらゆる運動をふるいにかけた。自民党の中からも、より反動

的な支配体制の確立に向けて、解党もじさぬ「改革」を求める声があり、社会党をもからめとって、自民・社会両党の分裂・再編劇が始まっている。連合は、まさに侵略翼賛勢力としての姿を顕わにし、自民党と一体となって「政治再編」を合唱している。われわれは、「戦後四七年目の再出兵」という日を境として、戦後の日本の歴史が一変してしまったのだという認識をもたなければならぬ。変化への渴望が時代の精神となろうとしている。既成の価値観を尺度とすることが意味を失おうとしている。今のところ、時代の閉塞を最も敏感に感じとっているのは支配階級の側であるかのように見える。しかし彼らにしても、出口の見えない喪失感のなかで喘いでいるにすぎない。

矛盾を噴きだす 分割・民営化体制

ふり返って見れば、「戦後政治の総決算」のかけ声のもとに臨調・行革攻撃が開始されから十年あまりが経つことになる。動力千葉はこの十年、国家をあげた未曾有の攻撃に真正面から立ち向かい、「自力・自衛・連帯」の精神で闘いぬいてきた。この闘

いは、確実に情勢を揺るがし、勝利への扉をこじあけつつある。われわれが正しく指摘したように、「分割・民営化体制」は、わずか五年にして全面的な破綻をあらわにしている。株式上場の挫折、土地売却の停滞と長期債務問題の泥沼化、JR経営の悪化と関

連事業のゆきづまり、貨物問題に象徴される七分制体制の矛盾の噴出、事故の多発と運転保安の危機、労務政策の破産など、その傷口はすでに手の施しようもないまでに

派兵情勢とぎりぎり 結んだ一年間の闘い

われわれはこの一年間、「五・二八」「六・二五」という、不当解雇撤回闘争の圧殺を意図した大反動や、「第二の分割・民営化」とも言うべき新たな大合理化攻撃に対し組織の総力をあげた闘いを展開するとともに、「反戦闘争を闘う労働運動」の旗を掲げ、全国

拡大している。まさに、運政審が十年を経て、「鉄道斜陽論」から「鉄道復権論」へと一八〇度転換したように、分割・民営化体制の「見直し」は不可避である。

闘争

激動の93年に変革の 担い手として登場しよう

九三年は、まさに激しい諸事件がしぶきをあげてぶつかり合う歴史の転換点となろうとしている。「政治の季節」が到来しようとしている。労働者階級こそが、その変革の担い手として登場しなければならぬ。撃たなければならぬのは国家権力であり、支配構造の総体である。われわれが今立っている地点が、歴史のうねりのなかで、何処に位置しているのかを

の仲間たちとともに、闘いの渦中に身をおくことを通して、貴重な教訓を学びとってきた。恐ろしい速度で総屈服が進む状況のなか、われわれの闘いは、ギリギリのところまで「派兵情勢」との対抗関係をつくりだしたのである。

火花となって全国に飛び散り、ほとばしる炎となって燃え上がる日をまわっているのである。また九三年こそ、「分割・民営化体制」に風穴をあける大前進の年としなければならぬ。「分割・民営化体制」の矛盾は、いたるところでほつれ、爆発寸前である。嵐のように吹き荒れる大合理化攻撃が、JR労働者の怒りを沸騰点までおしあげることが間違いない。膠着状態の続くJR総連の崩壊への動きも、今年、いよいよ東日本で火を吹くことになるのは明らかだ。確かにわれわれも苦しいが、敵の側はもっと苦しいのだ。

反戦闘争と 国鉄闘争の 結合を!!

勝利の鍵は、反戦闘争と解雇撤回・事業団闘争を軸とする国鉄闘争の結合である。このふたつの闘いが合流したとき、今日の労働運動の危機はうち破られ、時代への危機感、怒りとなって流出するであろう。われわれはここに、連合を根底から覆す結果軸がうち立てられる展望を見ることができよう。闘いのなかで学びとってきた勝利への道すじを指針とし、この十年間の屈辱と苦しみ、積もり積もった怒りを解き放つて闘いに起とう。全国の仲間たちと固いスクラムを組んで、九三年を変革への第一歩としよう!

一九九三年一月一日

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員会